

「改革元年」を目指して

学長 平山 征夫



学生諸君、教職員そしてご父母の皆さん、新年おめでとうございます。新しい年をいかがお迎えでしょうか。私たちは毎年いろいろなことに遭遇しますが、それはうれしいことばかりではありません。つらいこと、悲しいこともあります。むしろその方が多いかもしれません。でも新しい年を迎えるとき、気持ちを新たにまた頑張ろうという気になります。

それぞれにいろいろなことがあつた昨年を振り返るとともに、その経験を肥料にして、『1年の計』を胸に刻んでください。

昨年は私にとっては、初詣でに出かけた千葉・安房小湊

学生諸君、教職員そしてご父母の皆さん、新年おめでとうございます。新しい年をいかがお迎えでしょうか。私たちは毎年いろいろなことに遭遇しますが、それはうれしいことばかりではありません。

銀行員、知事という経験に続いたりましたことは、中央銀行員に就任し、責任者としての立場で大学教育に携わるようになりました。何といつても4月から本学の学長に就任し、責任者としての立場で大学教育に携わることになりましたことは、中央銀行員、知事という経験に続

く人生を締めくくる仕事としては、これ以上ない意義のあるポストを与えていただきと喜んでいます。

学長としての9カ月を振り返りますと、「改革・15年目からの新たな出発」ということを掲げながら、多くの改革事項が議論段階に止まり、成果が実らなかつたことを反省しています。初めての経験と

（）

の時代でも変わらない高等教育が担う基本的役割「豊かな人間性と専門知識を持つた人材の育成」「考える力を持つた自立した人間教育」などが十分図られているかです。この目標に向かって、先生は研究

（）

す。新年はそうしたことに取り組むことから始めようと思っています。

国はグローバル経済の進展の中で「国際的に通用する大學」「多様な人材育成ができる大学」などを目標にしていますほか、少子化時代への対応として経営の効率化と競争原理の導入を図っています。

豊かで自立した人間教育に

論を通じてより良い大学づくりへの気持ちの統一を図らなければならぬと思っていま

気持ちを一つにして励もう

ます。

新しい年が皆さまにとって良い年になりますよう祈念申しあげますとともに、本年これまでに出かけた千葉・安房小湊でください。

そこで、その経験を肥料にして、『1年の計』を胸に刻んでください。

そこで、その経験を肥料にして、『1年の計』を胸に刻んでください。

そこで、その経験を肥料にして、『1年の計』を胸に刻んでください。

CONTENTS

2・3面

武藤理事長に叙勲・瑞宝重光章
連携公開講座「21世紀の舞踏芸術」
7ヵ国20人の高校生と交流

パークレーで見たアメリカ大統領選挙
ホワイトハウスからお客様

4・5面

私の研究テーマ
新潟国際ビジネスメッセに出展
お薦めBOOK

教員の活動(2008年下半期)

6面

公開講座「映画のなかの市民社会」報告
湧源(編集後記に代えて)

7面

情報文化学科の卒論中間発表会開く

企業懇談会に263社が参加
平成21年度入試日程案内

8面

韓国・中国の大学院で学ぶ(卒業生の便り)
「紅翔祭」実行委員会から報告

本年度の秋の叙勲で、本学の武藤輝一理事長が瑞宝重光章を受賞されました。旧新潟医科大学を卒業後、新潟大学長からさらに本学学長にと半世紀以上にわたった教育研究分野における功績が高く評価されました。将来を見据えた大学運営にも精力的に取り組んでおられます。

武藤理事長は1929年（昭和4年）、新潟市学校町（中央区）生まれ。旧制新潟師範附属小から新潟中学、新潟高校理科、新潟医科大、さらに新潟大学大学院医学研究科博士課程を修了（医学博士）しました。専門は一般・消化器外科。当時はまだ専門科に细分化されていました。

少年時代は勉強嫌いで、けんかや遊びに明け暮れたやんちゃ坊主だったとか。小学校卒業時の担任に、人の為になること人との交わりを大切にしなさい、と諭され高

校に入つて勉強するためにはまだ専門科で、けんかや遊びに明け暮れたやんちゃ坊主だったとか。小学校卒業時の担任に、人の為になること人との交わりを大切にしなさい、と諭され高

なから理事評議員に2000年（同12年）から2005年（同17年）まで2期8年間を大学長、N E S Y S プログラムの一環で新潟市内にホームステイしているインド、タイ、インドネシア、マレーシア、フィリピン、オーストラリア、ニュージーランドの7カ国20人の高校生と教員2名が12月

15日、本学を訪れて交流しました。まずは国際交流センターで情報文化学科4年石塚武志さんが空手の形を披露して一行を出迎えました。3グループに分かれ本学学生ガイドの案内で学内を見学、またG・ハドリー教授のC E P の授業に参加して英語による交流を行い、最後に学食で昼食メニューを味わつてもらいました。

一行は記憶に残る楽しい時間を過ごすことができたようで、感想文には " awesome " や " cool " など積極性を持つて発言し行動し世の中に役立つ「異文化を実感」を語っています。さらに、より社会性と特殊性のある学部・学科への再編成、大学院の設置など本学の将来像を描いています。

金森氏は「21世紀の舞踊芸術」と題して、5年間で手がけた作品を映像で紹介しながら舞踏芸術の現状などを語りました。会場には約100人が訪れ、海外でも高く評価され、芸術選奨文部科学大臣賞（平成19年度）などを受賞している現代バレエ演出家の話に聞き入っていました。

科・数学科に進みその後を追うことも考えましたが、結局は、琴や活花の師匠をしていた母親の一言で進路が決まりました。

新大医学部附属病院長となつたのは1986年（昭和61年）8月（平成元年）には新大医学部長。さらには92年（同4年）から98年（同10年）まで2期6年、同大学長を務めました。

本学（学校法人新潟平成学院）との縁は退官間もなくから理事評議員に2000年（同12年）から2005年（同17年）まで2期8年間を大学長、N E S Y S プログラムの一環で新潟市内にホームステイしているインド、タイ、インドネシア、マレーシア、フィリピン、オーストラリア、ニュージーランドの7カ国20人の高校生と教員2名が12月

15日、本学を訪れて交流しました。まずは国際交流センターで情報文化学科4年石塚武志さんが空手の形を披露して一行を出迎えました。3グループに分かれ本学学生ガイドの案内で学内を見学、またG・ハドリー教授のC E P の授業に参加して英語による交流を行い、最後に学食で昼食メニューを味わつてもらいました。

一行は記憶に残る楽しい時間を過ごすことができたようで、感想文には " awesome " や " cool " など積極性を持つて発言し行動し世の中に役立つ「異文化を実感」を語っています。さらに、より社会性と特殊性のある学部・学科への再編成、大学院の設置など本学の将来像を描いています。

本学と新潟日報社が連携して開催している公開講座が11月1日、本学新潟中央キャンパスの会場に新潟市民芸術文化会館（りゅーとぴあ）の専属舞踊

カンパニーNoism芸術監督・金森氏を講師に迎えて開催されました。金森氏は「21世紀の舞踊芸術」と題して、5年間で手がけた作品を映像で紹介しながら舞踏芸術の現状などを語りました。地域に根ざした活動を支えるのは市民であり、これからも関心を持つけ、またプロダンサーは日々の鍛錬で身体の可能性を高め、自分のためなく人のために踊っているなどと話しました。会場には約100人が訪れ、海外でも高く評価され、芸術選奨文部科学大臣賞（平成19年度）などを受賞している現代バレエ演出家の話に聞き入っていました。

武藤理事長に叙勲・瑞宝重光章



（昭和4年、新潟市学校町（中央区）生まれ。旧制新潟師範附属小から新潟中学、新潟高校理科、新潟医科大、さらに新潟大学大学院医学研究科博士課程を修了（医学博士）しました。専門は一般・消化器外科。当

教育研究分野で多大な功績 学生の成長を見守り激励

本学の発展と運営に将来構想も

た。専門は一般・消化器外科。当時はまだ専門科に细分化されていました。

医学の時代で、同附属病院第1外科では研究の傍ら診察、手術執刀、後進の指導などと超多忙な毎日で「まさに『何でもやる科』でした」と振り返っています。

医学の道に進んだのは、小学校の恩師の言葉と、母親の勧めでした。父母亲を1歳半で亡くし母子家庭の一人っ子で大事にされ厳しくも優しく育てられてきました。高校の親しい先輩が東大の理

7カ国20人の高校生と交流 東アジア青少年交流プログラム

東アジア青少年交流計画（J E N E S Y S ）プログラムの一環で新潟市内にホームステイしているインド、タイ、インドネシア、マレーシア、フィリピン、オーストラリア、ニュージーランドの7カ国20人の高校生と教員2名が12月

15日、本学を訪れて交流しました。

まずは国際交流センターで情報文化学科4年石塚武志さんが空手の形を披露して一行を出迎えました。3グループに分かれ本学学生ガイドの案内で学内を見学、またG・ハドリー教授のC E P の授業に参加して英語による交流を行い、最後に学食で昼食メニューを味わつてもらいました。

一行は記憶に残る楽しい時間を過ごすことができたようで、感想文には " awesome " や " cool " など積極性を持つて発言し行動し世の中に役立つ「異文化を実感」を語っています。さらに、より社会性と特殊性のある学部・学科への再編成、大学院の設置など本学の将来像を描いています。

本学と新潟日報社の連携講座開く



「21世紀の舞踊芸術」を語る Noism芸術監督・金森氏を迎えて

（昭和4年、新潟市学校町（中央区）生まれ。旧制新潟師範附属小から新潟中学、新潟高校理科、新潟医科大、さらに新潟大学大学院医学研究科博士課程を修了（医学博士）しました。専門は一般・消化器外科。当時はまだ専門科に细分化されていました。

医学の時代で、同附属病院第1外科では研究の傍ら診察、手術執刀、後進の指導などと超多忙な毎日で「まさに『何でもやる科』でした」と振り返っています。

医学の道に進んだのは、小学校の恩師の言葉と、母親の勧めでした。父母亲を1歳半で亡くし母子家庭の一人っ子で大事にされ厳しくも優しく育てられてきました。高校の親しい先輩が東大の理

「異文化を実感」

情報文化学科4年 石塚 武志

限られた時間の中で、いかに彼と、母親の勧めでした。父親を1歳半で亡くし母子家庭の一人っ子で大事にされ厳しくも優しく育てられてきました。高校の親しい先輩が東大の理

の親しい先輩が東大の理

の親しい先輩が東

バークレーで見たアメリカ大統領選挙

オバマ新大統領誕生の知らせを聞いたのは、選挙のあつた11月4日夜の映画館だった。私が現在、本学海外研修制度を利用して、研修をして

路を行き交う車は、断続的に
クラクションを鳴らし続け、
窓から手を振り、道行く人々
とお祝いの言葉を交わしてゆく。

ながら「タツチ」を繰り返すうちに、「今、ここにいる私たちの力で、これから一緒に新しい歴史をつくるんだ」という不思議な一体感に包まれ

「チ運動(FSM)」に代表されるように、全米の中でも民主主義と自由を重んじるリベラルな気風で有名である。だから、大学のどの教員や職員に聞いても、多くが口をそろえて、ブッシュ政権の8年間は悪夢のようだつたと言う。その意味で、オバマの当選に



大学前のテレグラフ通り。
夜中であるにもかかわらず、
その後、学生の数は
どんどんと膨れ上がった。
オバマの選挙を支えたのは、
これら多くの若者たちでした。

大歓声勝利の瞬間、歓声とハイタッチ
「新しさ歴史をつくる」市民の一体感

克莱一校には、大学構内に大きな美術館や映画館もある。異例なのかもしれないが、上映の合間に、映画館の職員がスクリーンの前に立ち、マイクでおごそかにそれを告げた。会場から思わず歓声が上がりつた。

映画が終わり、映画館を出てみると、大学の正門の近くには、すでに多数の学生たちが集まって思い思いに喜びを表現していた。大学の前の道

黒人も白人も、老人も若者も、男も女も、見知らぬ者同士がすれ違いざまに、みんなで野球の選手がやるよう 「ハイタッチ」をして喜びが分かち合つた。私はアメリカ市民ではないし、もちろん民主党員でもないが、街を歩き

た。そんな経験は生まれて初めて得た。そこバーケレーは、気候はごく穏やかな大学街だが、1964年以降の「フリースペース」で、だ。

「最も貢献したのは、皮肉なことにブッシュ大統領自身でも
つたかもしれない。
しかし、私がここで強く感じたのは、今回の大統領選挙

が、失政を繰り返した共和党の大統領をただ取り換えたというだけの選挙ではなかつたということだ。オバマの選挙は、「キャンペーン」ではな

取ることができたのは、「今この社会は変わらなければならない、そして私たちにはその力があるはずだ」、という強い思いや願いであった。いわば、オバマの勝利は、通常の「政権交代」ではなく、むしろ一種の「革命」と言う

新潟を訪問中だった米ホワイトハウス大統領府科学技術政策局（OSTP）技術部のネットワーク情報技術（NIT）上級政策分析官Charles H. Romine博士が10月22日、本学を訪問されました。OSTPは、アメリカ政府の各機関における科学技術開発予算案の基本政策を策定する機関であり、Romine博士は、アメリカ大統領に対する政府の技術政策関連の進言を作成する立場にある方です。

Romine博士は、本学本校（みずき野）キャンパスのネットワークやコンピューター設備などを見学さ

ホワイトハウスの政策分析官が来校

れ、関連する分野の教員と歓談されました。

また、本学教員、関係する卒研学生および一般の方も交えた聴衆に対し、講演をしていただきました。演題は、“An Overview of U.S. R&D in Information Technology and Information Systems”。インターネットをはじめとし、情報通信技術の分野で世界をリードするアメリカの情報通信技術、および情報システム分野に関する研究開発動向について、その概観をさまざまなカテゴリーごとに説明をしていただき

情報セキュリティーの実現へ 世界規模の連携について講演

ました。

A black and white photograph of a man with glasses, wearing a dark suit, white shirt, and striped tie. He is standing and speaking into a handheld microphone. To his right is a whiteboard with the word "Outline" at the top and a bulleted list of topics.

会場からは、この世界規模の情報セキュリティ連携関連、およびアメリカ政府の各機関の情報システム構築の独立性と共通化の可能性についてなどの質問があり、有意義なやり取りが交わされました。

- OSTP (: the White House Office of Science and Technology Policy = 米国大統領府科学技術政策局)
 - NIT (: Network Information Technology)

(情報システム学科・教授 爰原 悟)

ひるがえつて、私は自分の国今の状態について考えた。私たちが決定的に奪われているものが何であるのか。それは、私たちが、自分の社会や国をより良く変える力を持ち得るという「希望」なのでないか。何でもあるけど、希望だけがない国、日本。路上の喜びに満ちたバークレーの学生たちの中で、私は自分の国の現在の姿と未来について、否応なく考えさせられ

(情報文化学科)
佐

佐々木
寬)

日本からみれば、ロシアは西方の国です。しかも、飛行機で90分の直通便で行けるほど近い隣国です。これだけ近いのに、日本あまり知られていません。文化的にいえば、西方ではなく東方でもない面白い国です。

あるいは逆にいえば、西洋文化の要素が見られると同時に、東洋的な相貌を持つ國でもあります。ロシア人がしゃべる言葉はインド・ヨーロッパ語族に所属しています。ロシア語のアルファベットは古代ギリシャ語の字をまねて作られたり、現代ロシア語には

語から受け入られた単語がその例です。他方では、ほかのヨーロッパ語にめったにみられない豊富な語尾変化システムがあり、ヨーロッパ人にとっては決して覚えやすい外国语

英語をはじめヨーロッパの諸言語から受け入れたおびただしい外来語が広く用いられています。ロシア語の「文明」「革命」「兵士」「空気」などヨーロッパ諸

ではなさそうです。こういう国を研究するのは楽しいことです。ロシア正教会の建物のネギ坊主のような屋根が、教会内に「生きている」精霊を象徴するということは

ことが多いですね。ロシアの女性には何か頭を覆うスカーフか帽子かをかぶつて教会に参拝する習慣もあります。イスラムの影響でしょうか。ところで、現代ロシアで東方を代表するイスラム教が正教につづいて2番目の宗教であることは案外多くの人々が知らないではないでしょうか。

東西両文化を融合したロシア社会はこれからどちらの道を歩むのか、あるいは、もう少し別の方向を選ぶのか、今、選択を迫られる時代です。

私の研究テーマ

情報文化学科・教授 アレクサンドル・プラーソル

社会に役立つ情報の利活用能力

情報システム学科・教授 高木 義和

本学に来る前は、日本たばこ産業(株)で研究開発や、研究管理、特許管理、喫煙と健康の学術文献管理、新規事業開発など世の中に存在する専門情報を利用したり、新規な情報をつくりだしたりする業務に従事していました。最初に使ったデータベースは化合物を検索するケミカルアブストラクツでした。日本特許やUSパテントなどの特許データベースを使って特許の重要性を学びました。

そこで、大学では情報をめぐるさまざまな考え方の中、情報人材としています。卒業研究でSQLを使用したデータベースの作成を指導しているのもその一環です。一方、情報システムの開発

した。これら情報活動を通して情報を効果的に活用するためにはデータベースから得ることのできる情報と、現場から直接収集した情報を、目的に応じて使い分けることの

ます。情報を利用する人や、情報を処理する情報システムを使う人がいなければ、情報は情報として成立しないことを基本にして、ユーチャーサイドに立った情報システムや

を行っている業界は情報サービス産業と呼ばれます。新潟では下請け比率の非常に高い産業となっています。新潟とカナダ・エドモントンの情報サービス産業関連企業の調査を行い事業構造の比較分析を行うとともに、競争力向上に関する研究を行なっています。また、本学の竹並先生とともに2005年に情報システム学会の設立に向けた活動を行いました。そして同学会で「産業界からの論文発表を促進する研究会」主査として

「新潟国際ビジネスメッセ2008」が11月6、7日の両日、新潟市産業振興センターを会場に開催され、本学からは、情報システム学科の佐々木桐子准教授が出席しました。第12回を迎えた今は、環境や福祉、IT分野などの企業に加え、新潟エリアの大学をはじめとする先駆的な技術開発を行う研究機関が一堂に会し、産・学の英知を結集した新潟地域最大規模の産業見本市となりました。

本学のブースの展示は人や物の流れに関する研究を基にした、「生産・物流現場」「交通・通信分野」「ビル・店舗設計」などさまざまなプロジェクトについてシミュレーション・モデルの作成・実行・分析を行なってきました。また、本学の竹並先生とともに2005年に情報システム学会の設立に向けた活動を行いました。そして同学会で「産業界からの論文発表を促進する研究会」主査として

国際ビジネスメッセ
2008

シミュレーション・モデルなど展示

(情報システム学科・准教授 佐々木桐子)



ena (アリーナ) の紹介、それに、マーケシートや学生証などを用いた出席管理システムの展示を行いました。産業界の方のみならず、大学などの教育関係者から大きな関心を寄せていただき、また本学の卒業生やご父兄など、さまざまなお方が足を運んでくださいました。今回の出展企業・団体は県内外からの132と、海外のロシア・中国・韓国からの18社が会場を訪れました。

日本的情報関連産業が国際競争力を持つための基礎づくりに取り組んでいます。

「ロシア・ドキュメンタリー」をテーマに

在新潟ロシア領事も参加し作品解説

去と現在から学んで、私たちの市民社会あり

方、民主主義についても問うことができまし

た。

崩壊後のデモクラシー

の国として再生された

ロシア連邦ですが、そ

こでは再編された市民

社会で今、何が起つ

ました。また

10月4日から31

日にかけて3本の映画

が上映され、その作品

を題材にして、本学の

新潟中央ヤンバスを

会場に連続講座が開催

しました。

は今のロシアでどのよ

うに機能しているので

ただ、大変有意義な

品解説で参加をしてい

しょうか。その国の過

程、進路ガイダンスについては新潟県の4年制

大学への進学率が50%に迫り、一定の役割を終

えたこと、NUIS LIVEについては内容的

にオープンヤンバスとの差別化が難しくなつ

てきたなどの理由により、これら二つのイベン

トを廃止し、代わりにオープンヤンバスの回

数を1回増やして3回とするに決定した。

ここ4年間のオープンヤンバスへの高校3

年の参加者数は平均300人強（2回合計）

で、それら生徒の受験率は7月が約6割、10月

が約8割である。7月の受験率が低いのは、実

際にはオーブンヤンバスに参加したうえで志願

するか否かを決めようとしている生徒が多いか

らと考えられる。

一方、入学者へのアンケート結果をみると、

オープンヤンバスに1度も参加せず本学を受

験した生徒が最近4年間では平均55.2%と半

数以上に達する。この数字の意味をどう解釈す

るかについて今は述べない。ただ、入試広報的

な観点からは、オープンヤンバス参加者の本

学への受験率と不参加者の受験率というこの二

つの数字の中に、今後の本学の採るべき広報戦

略の方向性についてのヒントが示されているの

ではないかと思われる。

なお、来年度のオープンヤンバスは、みず

き野・赤塚地区にお住まいの方にも、地域交流

の一環として本学の模擬授業を体験していただ

けるものとするよう検討に入っていることを申

し添えておきたい。

庄報委員長 澤口 晋一

湧源

編集後記に代えて

第10回《公開講座 映画のなかの市民社会》

公開講座「映画のなかの市民社会」は て いる恒例行事となり

されました。ソビエト

崩壊後のデモクラシー

の国として再生された

報イベントとして、5月に数名の講師を招き大

学進学の意味を考えてもらう進路ガイダンス

を、7月と10月にオープンヤンバスを、8月に

は大学の講義を実際に体験してもらうNUIS

LIVEを実施し、本学の紹介に努めてきた。

しかし、こうしたイベントが現在の形となつて

既に4~5年経過したことから、庄報委員会で

は今回これらについて見直しを行つた。その結

果、進路ガイダンスについては新潟県の4年制

大学への進学率が50%に迫り、一定の役割を終

えたこと、NUIS LIVEについては内容的

にオープンヤンバスとの差別化が難しくなつ

てきたなどの理由により、これら二つのイベン

トを廃止し、代わりにオープンヤンバスの回

数を1回増やして3回とするに決定した。

ここ4年間のオープンヤンバスへの高校3

年の参加者数は平均300人強（2回合計）

で、それら生徒の受験率は7月が約6割、10月

が約8割である。7月の受験率が低いのは、実

際にはオーブンヤンバスに参加したうえで志願

するか否かを決めようとしている生徒が多いか

らと考えられる。

一方、入学者へのアンケート結果をみると、

オープンヤンバスに1度も参加せず本学を受

験した生徒が最近4年間では平均55.2%と半

数以上に達する。この数字の意味をどう解釈す

るかについて今は述べない。ただ、入試広報的

な観点からは、オープンヤンバス参加者の本

学への受験率と不参加者の受験率というこの二

つの数字の中に、今後の本学の採るべき広報戦

略の方向性についてのヒントが示されているの

ではないかと思われる。

なお、来年度のオープンヤンバスは、みず

き野・赤塚地区にお住まいの方にも、地域交流

の一環として本学の模擬授業を体験していただ

けるものとするよう検討に入っていることを申

し添えておきたい。

庄報委員長 澤口 晋一

湧源

編集後記に代えて

かの市民社会」は て いる恒例行事となり

ました。

1999年以来、新潟

市の映画館「シネ・ウ

ィンド」と共催、今年

で10回目の開催となり

ました。映画を題材に

市民社会のあり方につ

いて考へる、毎回多く

の市民に参加いただき

る。

劇中リチャード・ソクーロフ監督

1922年5月、レーニンは最初の発作に

襲われた。働きすぎがもとで、動脈硬化を起

こしたのである。この映画はしばらく後、ゴ

ルキ村で療養中のレーニンのひとときを描

いている。

劇中のリチャード・ソクーロフ監督

は、わがままが可憐もあるレーニンを取

り合って、日々、神経戦を繰り広げていたの

だ。他方、映画にしかない虚構もある。とく

にラストでレーニンは、痴愚神的な幸福感に

浸っているが、現実の彼はソ連体制の行く末

に対する不安と絶望でいっぱいだったので

ある。

古典的な原案を、監督独自の時間感覚や人

物描写に昇華した上で、人が人を裁くことへ

の恐れや限界、裁きの後の「罪びと」と社会

はどう向き合っていくべきかを問うていて

る。

（エクステンションセンター非常勤講師

田中まさき）

（情報文化学科・講師 池田嘉郎）

社牛座

（アレクサンドル・ソクーロフ監督）

12人の虚構と現実

（ギータ・ミハルコフ監督）

12人の怒れる男

（アキ・カウリスマキ監督）

冤罪と罰

（アキ・カウリスマキ監督）

本学ではこれまで高校生を対象とした入試広報イベントとして、5月に数名の講師を招き大

学進学の意味を考えてもらう進路ガイダンス

を、7月と10月にオープンヤンバスを、8月に

は大学の講義を実際に体験してもらうNUIS

LIVEを実施し、本学の紹介に努めてきた。

しかし、こうしたイベントが現在の形となつて

既に4~5年経過したことから、庄報委員会で

は今回これらについて見直しを行つた。その結

果、進路ガイダンスについては新潟県の4年制

大学への進学率が50%に迫り、一定の役割を終

えたこと、NUIS LIVEについては内容的

にオープンヤンバスとの差別化が難しくなつ

てきたなどの理由により、これら二つのイベン

トを廃止し、代わりにオープンヤンバスの回

数を1回増やして3回とするに決定した。

ここ4年間のオープンヤンバスへの高校3

年の参加者数は平均300人強（2回合計）

で、それら生徒の受験率は7月が約6割、10月

が約8割である。7月の受験率が低いのは、実

際にはオーブンヤンバスに参加したうえで志願

するか否かを決めようとしている生徒が多いか

らと考えられる。

一方、入学者へのアンケート結果をみると、

オープンヤンバスに1度も参加せず本学を受

験した生徒が最近4年間では平均55.2%と半

数以上に達する。この数字の意味をどう解釈す

るかについて今は述べない。ただ、入試広報的

な観点からは、オープンヤンバス参加者の本

学への受験率と不参加者の受験率というこの二

つの数字の中に、今後の本学の採るべき広報戦

略の方向性についてのヒントが示されているの

ではないかと思われる。

なお、来年度のオープンヤンバスは、みず

き野・赤塚地区にお住まいの方にも、地域交流

の一環として本学の模擬授業を体験していただ

けるものとするよう検討に入つてることを申

し添えておきたい。

中間発表会を終えて

実行委員代表

情報文化学科3年
佐藤亮

情報文化学科の4年生が
それぞれのテーマ別に研究
を行つた卒業論文の中間発
表会が、10月18日に新潟中
央キャンパスで行われまし

厳しい意見、質問が飛び交う



全員が参加している雰囲気に



時間の管理で反省点も

の準備時間を多くとらなかつたために、アンケート用紙の記入や教室移動が間に合わなくなるなどの不都合がありました。第2に事前の準備を準備委員全員がかわること。ポスター製作やタイムスケジュール作成において、担当者は当日の進行を把握していても、担当者以外の人は直前まで知らされなかつたこともあります。混乱が生まれてしまつた。準備委員会の連携をしつかりすることが重要だと思ひました。

平成21年度 入学者選抜試験概要（要約一覧）

入試区分	募集人員		出願期間	試験日	試験地	試験実施教科・科目	合格者発表日	
一般入学試験	前期	情報文化学科	35	21年 1月 6日(火) ～ 1月22日(木)	21年 2月 2日(月)	新潟 上越	・国語：国語総合(現代文)・現代文 ・数学：数学I・数学II(数学IIは、微分・積分を除く) ・外国語：英語I・英語II 上記3教科の中から2教科を試験場で選択	21年 2月 7日(土)
		情報システム学科	60	※出願期間内消印有効				
	大学入試センター試験利用	情報文化学科	15	21年 1月30日(金) ～ 2月16日(月)	21年1月17日(土)、 18日(日)の 大学入試センター試験を 受験していること		学科試験を課さず、平成21年度の大学入試センター試験の成績で判定、 全教科の中から2教科2科目選択 配点：各教科100点(3科目以上受験した場合は高得点の2教科2科目を 合否判定に使用。国語は近代以降の文章のみ利用。外国語(英語)は リスニングを含む。)	21年 2月21日(土)
		情報システム学科	20	※出願期間内消印有効				
	後期	情報文化学科	10	21年 2月16日(月) ～ 3月 3日(火)	21年 3月10日(火)	新潟	・国語：国語総合(現代文)・現代文 ・数学：数学I・数学II(数学IIは、微分・積分を除く) ・外国語：英語I・英語II 上記3教科の中から2教科を試験場で選択	21年 3月13日(金)
		情報システム学科	15	※出願期間内消印有効				

(注) 情報文化学部の定員は、情報文化学科 100 名、情報システム学科 150 名、合計 250 名です。

新潟国際情報大学 学費特別給付奨学生

一般入学試験(前期)の成績により奨学金が給付されます。

※予め、申込みが必要です。

I種／授業料全額(年額675,000円) II種／授業料半額(年額337,500円)

情報文化学科	3番以内▷ I種	8番以内▷ II種
情報システム学科	5番以内▷ I種	14番以内▷ II種

◎入試と選奨金の詳細については事務局までお問い合わせください。TEL 025-239-3111 E-mail gakumu@nuis.ac.jp

